

# 活力ある低炭素社会の実現 「ハイブリッド・シティとよた」



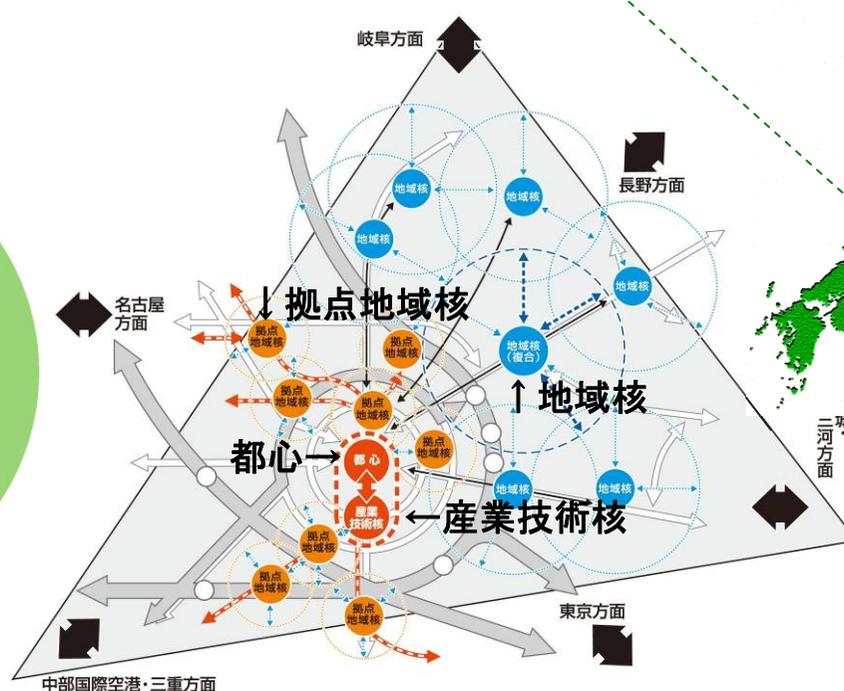
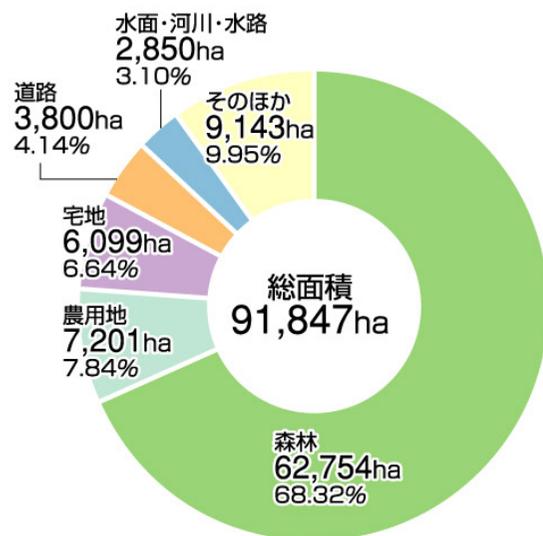
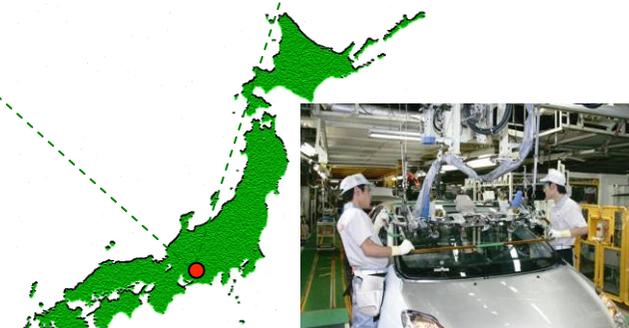
# 豊田市の紹介

第7次 豊田市総合計画 2008-2017  
 「人が輝き 環境にやさしく 躍進するまち・とよた」

- ◆ 人口 423,940人 (平成21年8月1日)
- ◆ 面積 918.47km<sup>2</sup>
- ◆ 製造品出荷額等 全国1位を誇る
- ◆ 合併で、市域の約7割が森林
- ◆ 産業都市と中山間地の過疎地域が共存



豊田市

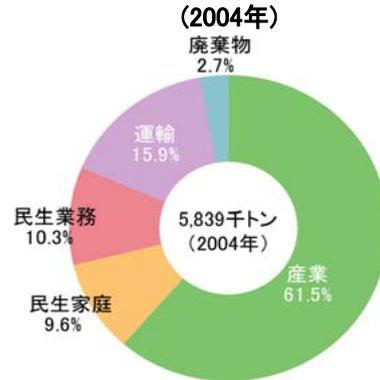


- 自動車専用道路、地域高規格道路
- ➡ 国道、内・外環状線等
- インターチェンジ (スマートインターチェンジ含む。)
- 🚋 鉄道等
- ➡ 基幹バス
- 🚗 地域交通
- ➡ 複合地域核へのアクセス交通

# 環境モデル都市アクションプランの全体構成

## ハイブリッド・シティ とよた

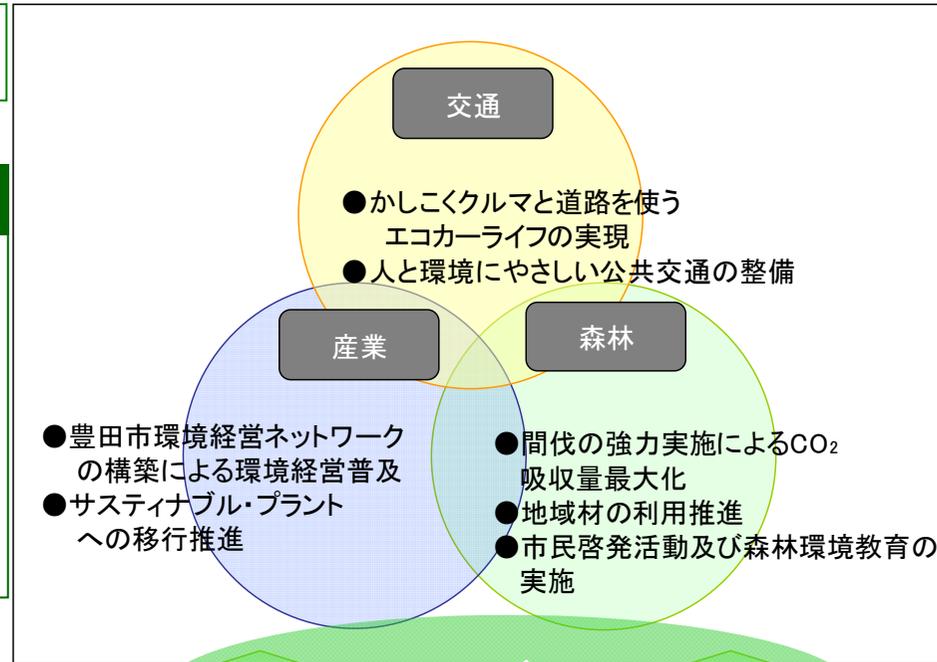
### CO<sub>2</sub>排出現状



### CO<sub>2</sub>削減目標

中期目標(2030年)  
【必達】: 30%削減  
【チャレンジ】: 50%削減

長期目標(2050年)  
【必達】: 50%削減  
【チャレンジ】: 70%削減

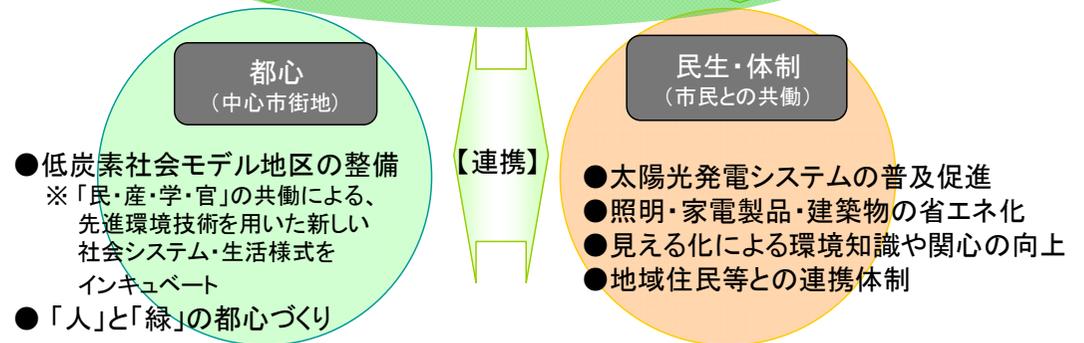


● 3つの領域を機軸(「交通」・「産業」・「森林」)に「人と環境と技術の融合(ハイブリッド)」による活力のある低炭素社会への取組を推進

● 内外へ情報発信するシンボル＝「都心」  
⇒ 重点的に先進環境技術を投入して「見える化」  
⇒ 実際のまちづくり・市街地整備に波及

● 環境と暮らしの技術を融合する「民生」の取組を各領域の取組の支えとして展開

## 【集中】ハイブリッド【連携】



(注)ハイブリッドとは・・・

異質なものを、独立した技術を融合して、新たな価値、新たな仕組みを創出し、総合的に展開することにより、都市の環境力の向上と活力の維持増進を図る

# 低炭素型まちづくりの取組① 公共交通とまちづくり

## 公共交通施策とコンパクトなまちづくりを同時に推進

都市計画マスタープラン、第7次総合計画  
「人が輝き 環境にやさしく 躍進するまち・とよた」  
⇒ 多核ネットワーク型都市

環境モデル都市(平成21年1月)  
「ハイブリッド・シティとよた」  
⇒ 公共交通への大胆な転換

- 鉄道駅を中心とした環境型のまちづくり
- 鉄道(名鉄三河線)の高架化・複線化
- バス施策、駅の結節点機能強化

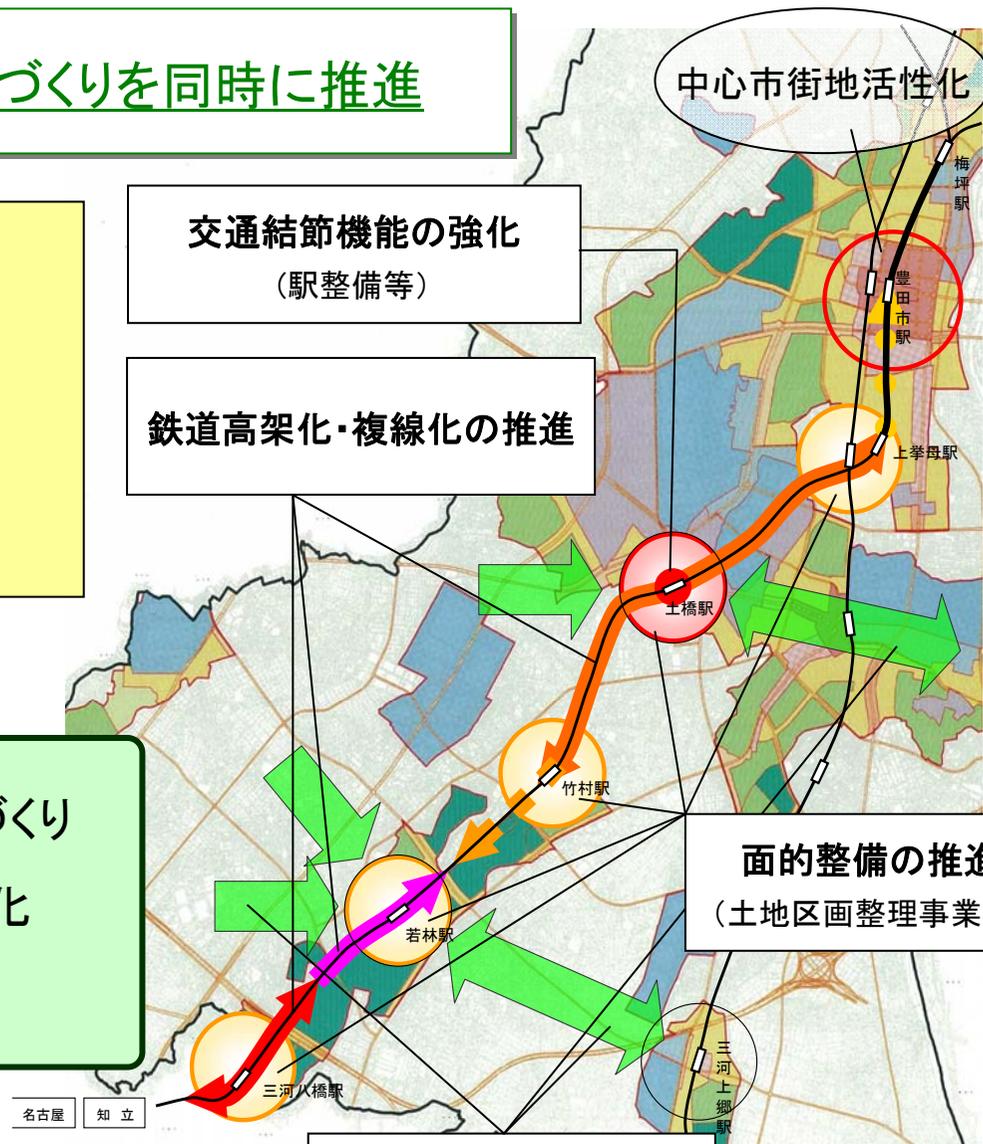
交通結節機能の強化  
(駅整備等)

鉄道高架化・複線化の推進

中心市街地活性化

面的整備の推進  
(土地区画整理事業等)

バス施策との連携



# 低炭素型まちづくりの取組② 新しい公共交通システムの導入

## 人と環境に優しい公共交通の走るまち

特定の路線に、将来の新しい公共交通システムを想定した先導的なシステムをモデル的に導入

### 新しい公共交通システム

#### 新しい車両

- ・燃料電池自動車
- ・斬新なデザイン、人に優しい車両
- ・情報化された車両、共通ICカード

#### 新しい停留所

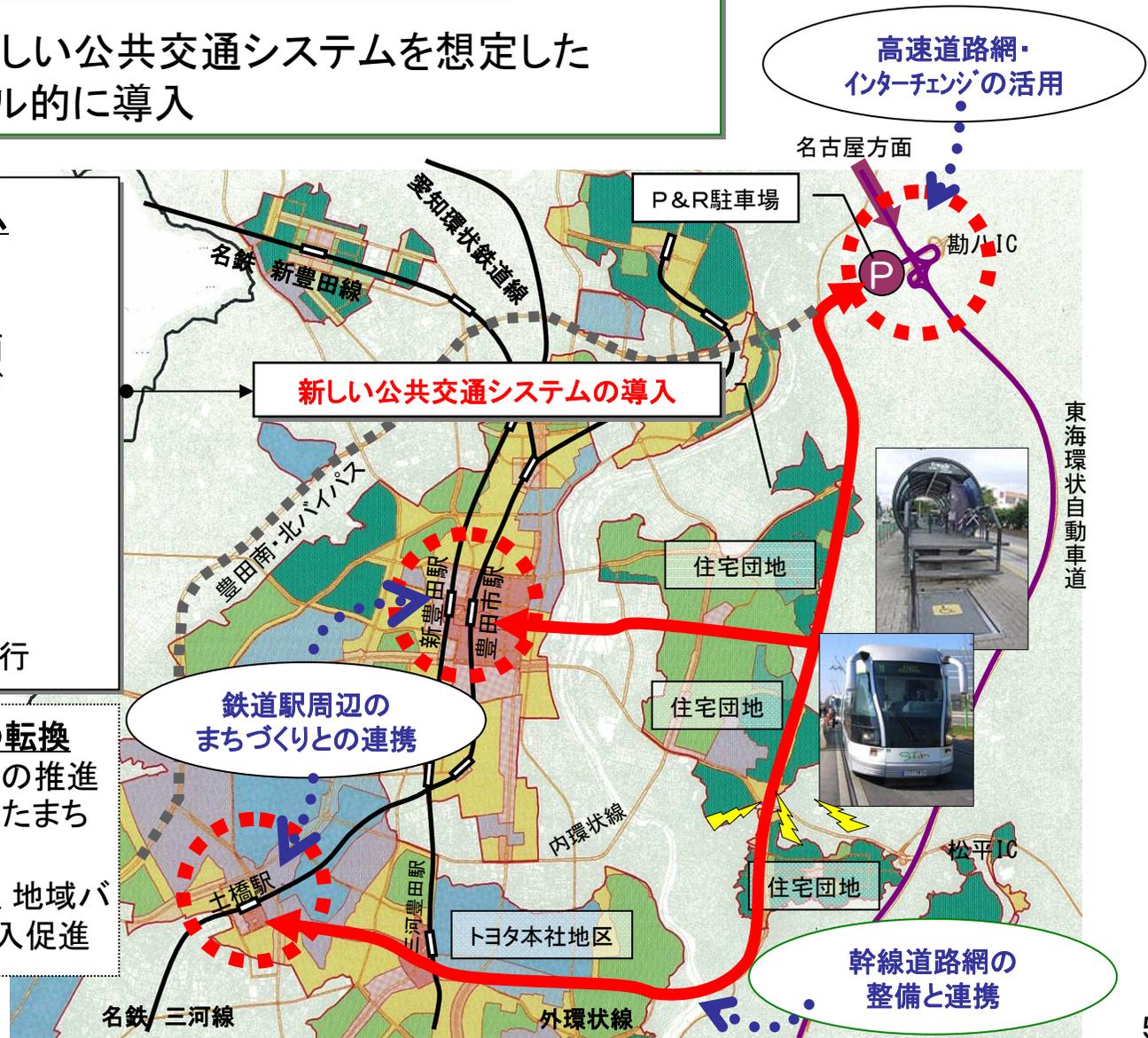
- ・快適なシェルター
- ・バスロケ等の情報機能

#### 新しい道路

- ・優先レーンや専用レーン
- ・信号制御の高度化による優先走行

### 【関連する取組事例】公共交通への転換

- 市民、企業との共働によるTDMの推進
- 鉄道複線化と鉄道駅を中心としたまちづくりの一体的な推進
- 鉄道を補強・補完する基幹バス、地域バスの充実、ハイブリッド車両の導入促進



# 低炭素型まちづくりの取組③ 次世代エコカーの普及

## 自然エネルギーを活用した次世代エコカーの普及

次世代エコカーと太陽光発電の普及により、自然エネルギーで自動車が走るまちを目指す

平成21年度  
太陽光充電施設 13箇所(23台分)整備  
プラグインハイブリッドカー 20台導入

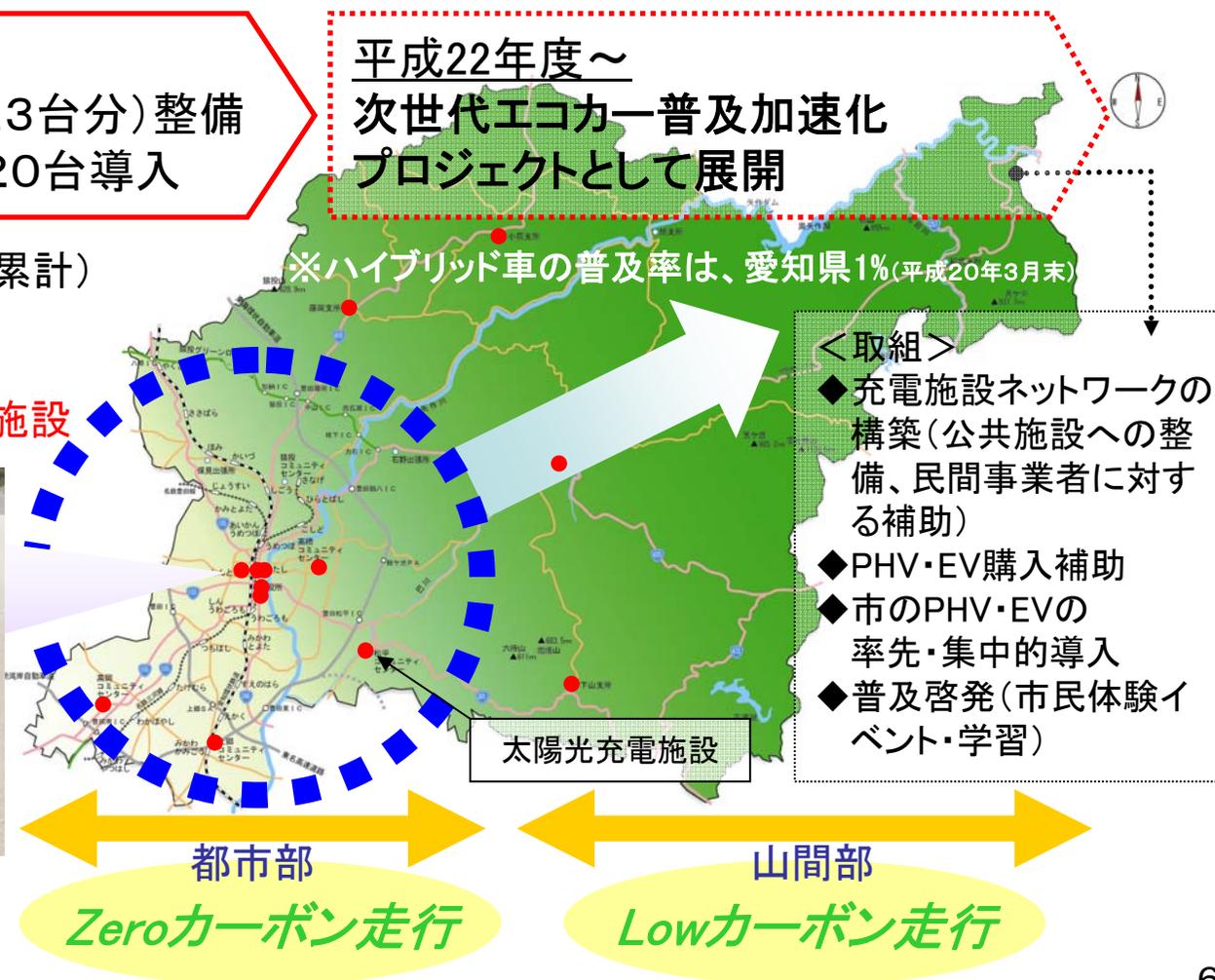
※住宅用太陽光発電補助実績(累計)  
約3,100世帯(H21.8現在)

平成22年度～  
次世代エコカー普及加速化  
プロジェクトとして展開

※ハイブリッド車の普及率は、愛知県1%(平成20年3月末)



プラグインハイブリッドカー(PHV)



- <取組>
- ◆ 充電施設ネットワークの構築(公共施設への整備、民間事業者に対する補助)
  - ◆ PHV・EV購入補助
  - ◆ 市のPHV・EVの率先・集中的導入
  - ◆ 普及啓発(市民体験イベント・学習)

# 低炭素型まちづくりの取組④「人」と「緑」の都心づくり

## 環境モデル都市のシンボリックエリア「都心」

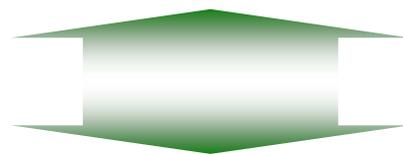
「人」優先で、低炭素型の「緑」あふれる都市空間を創出し、「都心」から低炭素型のライフスタイルを情報発信

### ● 「人」優先の都市空間の創出

- ⇒ 自動車の中心市街地への流入を抑制
- ⇒ 都心アクセスの公共交通の利便性の向上
- ⇒ 歩行空間の無電柱化、バリアフリー化

### ● 低炭素型の「緑」あふれる都市空間の創出

- ⇒ 都市公園の整備、公共空間の緑化
- ⇒ 建物(屋上、壁面)の緑化
- ⇒ 環境技術を率先導入した公共施設の整備



低炭素社会モデル地区で  
未来の低炭素型の都市・生活を実現



# 低炭素型まちづくりの取組⑤ 低炭素社会モデル地区の実現

「住む・憩う・集う・学ぶ」先進的な低炭素社会を実体験するミニタウン

低炭素なまちづくりを実現する足がかり

- 市民が実際に「住む」まち = 実生活として先進の環境技術・システムを試す
- 快適な低炭素型のライフスタイルが見える化

新たな環境産業を創出する環境づくり

- 市民、産、学、官の「共働」で新たな低炭素社会システムの実用化を推進する
- 異分野の取組を複合化、多様なアプローチを試行

未来の低炭素で快適なまちを豊田市で体験

実社会への導入・普及を加速

※低炭素型の市街地とライフスタイルを実現

例) 環境配慮型の区画整理、住宅開発、再開発としての事業展開を誘導

※単体技術ではなく、社会システムとして「まち」を低炭素化

